

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUE035G60T00C25A2000000/>

価を検索



日本経済新聞

朝刊・夕刊 LIVE Myニュース 日経会社情報 人事ウオッチ NIKKEI Prime

トップ 速報 ビジネス マーケット 経済 国際 オピニオン もっと見る #トランプ政権

ドラッグストア、外国人万引き対策強化へ 警察庁が指針

事件・司法 +フォローする

2025年2月3日 18:09

保存 印刷 メール 印刷 印刷 印刷 印刷 印刷



外国人グループによる窃盗事件で警視庁が押収した医薬品など（1月31日、警視庁荒川署）=共同

ドラッグストアを狙った外国人による組織的な万引きが目立つとして、警察庁は3日までに、防犯対策の指針を作成し業界団体の日本チェーンドラッグストア協会（東京・千代田）に示した。各都道府県警察に向けては各ドラッグストア事業者と連携した防犯対策を講じるよう求める事務連絡を発出した。

【関連記事】[外国人トクリュウ、ドラッグストア狙う ビルに盗品の山](#)

対策の指針には、外国語での音声アナウンスによる注意喚起▽高額商品は空き箱で陳列する▽防犯カメラの増設や高度化——などを挙げた。指針に基づき、店舗側と警察が連携しながら万引き被害を防ぐ狙いがある。

ドラッグストアでは外国人グループが医薬品や化粧品を盗み海外に持ち出す事件が増えている。警察庁が2021～23年の被害を分析したところ、来日外国人が関与した事件の被害額は1件あたり8万8531円で、日本人が関与した事件（1万774円）の8倍だった。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/ec6a4ad6c8899b30ff0143ca644842e9209154e4>

Yahoo!ショッピング

5%相当戻ってくる!今日はオトクな5のつく日

今すぐ参加

Yahoo! JAPAN

YAHOO! ニュース

IDでもっと便利に新規取得

ログイン

毎日5%おトク ※条件・上限あり

トップ

速報

ライブ

エキスパート

オリジナル

みんなの意見

ランキング

主要

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT

科学

ライフ

地域

複数人で来店の手口も…来日外国人による万引き1件あたりの被害額が平均8万8531円 医薬品・化粧品の被害が半数以上 警察庁

2/3(月) 18:22 配信 4831

FNNプライムオンライン

外国人によるドラッグストアを狙った大量万引きが問題となる中、警察庁は業界団体に対して防犯対策を徹底するよう申し入れを行いました。

外国人によるドラッグストアを狙った大量万引きは年々深刻化しています。

警察庁によりますと2021年から2023年の被害をもとに分析を行った結果、ドラッグストアでの万引き1件あたりの被害額は日本人では平均1万774円であった一方、外国人では平均7万8936円であることがわかりました。

また、旅行者などの来日外国人による万引き1件あたりの被害額は平均8万8531円で、外国人による万引きが大量で被害も多額であることもわかっています。

被害品の半数以上は医薬品や化粧品で、複数人で来店し、1人が店員の気を引いている間に、別の人物が万引きするという手口もみられるということです。



4831



京師美佳
防犯アドバイザー...

見解 万引きという言い方とすると軽く聞こえますが窃盗...

もっと見る

警察庁は、大手ドラッグストアなどが加盟している日本チェーンドラッグストア協会に対し、1月28日付で防犯対策の指針を申し入れ、対策を徹底するよう呼びかけました。

指針では、狙われやすい高額な化粧品や医薬品などは空箱で陳列し、店員の目の付きやすい場所に置くことなどが示されていて、防犯カメラの増設や防犯ゲートの設置、警察への早期通報も呼びかけています。

フジテレビ, 社会部

記事に関する報告

1,090 学びがある

3,289 わかりやすい

763 新しい視点

読賣新聞 オンライン

朝刊記事 紙面ビューアー 社説 English

三 すべて | トップ 速報 社会 政治 経済 スポーツ 国際 地域 科学・IT エンタメ・文化 ライフ 受験・就職 ヘルス

トップ > 社会

ドラッグストアで大量万引き続発、訪日客が容疑者の被害額は1件8万8531円...警察庁が指針策定

2025/02/03 19:13

保存して後で読む

ドラッグストアでの大量万引き事件が相次いでいることを受け、警察庁は3日、巡回強化や防犯カメラ増設など、店側の対策をまとめた指針を策定したと発表した。一般社団法人「日本チェーンドラッグストア協会」（東京）を通じて、全国の店舗への周知を図る。

警察庁

警察庁が、業界団体向けに万引き対策の指針を策定したのは初めて。指針では、巡回強化や外国語での店内放送による注意喚起などの対策を列挙。防犯カメラ・防犯ミラーの設置や高額商品の陳列は空箱にすることなどを促す内容で、1月28日付で協会に交付された。

警察庁によると、ドラッグストアでの万引き事件は増えており、昨年1～11月には計1万3754件に上った。2023年までの3年間の摘発状況を分析した結果、1件当たりの被害額の平均は、容疑者が日本人の場合が1万774円だったのに対し、訪日外国人の場合は8万8531円と高額になっていた。

トイレが自ら泡で掃除する

INAX SATIS X

詳細を見る >

[PR]

観光に見せかけて来日し、見張りや実行役など役割分担して化粧品や医薬品を盗むケースが目立つという。

あわせて読みたい

- 「万引きではなく億引きだ」10年で計1億円超分の盗みを重ね続けた男、巧妙な手口の数々 >
- 「お母さん」悲鳴の後に女子大生死亡、ベランダから男がハシゴで下りる >
- 「万引きGメン」が万引き、私服で勤務中にスーパーで洗剤1パック盗んだ疑い...「他にもやった」 >
- 女性警官が勤務中にスーパーで大根2本を万引き、警備員を振り払いケガ >

livedoor News

ニューストップ > 国内ニュース > 社会ニュース >

ドラッグストアで大量万引きが続発…訪日客の被害額は1件8万超えに

ドラッグストアで大量万引きが続発…訪日客の被害額は1件8万超えに

2025年2月3日 19時13分

ドラッグストアでの大量万引き事件が相次いでいることを受け、警察庁は3日、巡回強化や防犯カメラ増設など、店側の対策をまとめた指針を策定したと発表した。一般社団法人「日本チェーンドラッグストア協会」（東京）を通じて、全国の店舗への周知を図る。警察庁が、業界団体向けに万引き対策の指針を策定したのは初めて。指針では、巡回強化や外国語での店内放送による注意喚起などの対策を列挙。防犯カメラ・防犯ミラーの設

ドラッグストアで大量万引き続発、訪日客が容疑者の被害額は1件8万8531円…警察庁が指針策定

2025年2月3日 19時13分
読売新聞オンライン

ドラッグストアでの大量万引き事件が相次いでいることを受け、警察庁は3日、巡回強化や防犯カメラ増設など、店側の対策をまとめた指針を策定したと発表した。

一般社団法人「日本チェーンドラッグストア協会」（東京）を通じて、全国の店舗への周知を図る。

警察庁が、業界団体向けに万引き対策の指針を策定したのは初めて。指針では、巡回強化や外国語での店内放送による注意喚起などの対策を列挙。防犯カメラ・防犯ミラーの設置や高額商品の陳列は空箱にすることなどを促す内容で、1月28日付で協会に交付された。

警察庁によると、ドラッグストアでの万引き事件は増えており、昨年1～11月には計1万3754件に上った。2023年までの3年間の摘発状況を分析した結果、1件当たりの被害額の平均は、容疑者が日本人の場合が1万774円だったのに対し、訪日外国人の場合は8万8531円と高額になっていた。

観光に見せかけて来日し、見張りや実行役など役割分担して化粧品や医薬品を盗むケースが目立つという。

写真拡大

読売新聞

ニュース > 社会 > ドラッグストアで大量万引き続発、訪日客が容疑者の被害額は1件8万8531円…

ドラッグストアで大量万引き続発、訪日客が容疑者の被害額は1件8万8531円…警察庁が指針策定

2025/02/03 19:13

読売新聞 

ドラッグストアでの大量万引き事件が相次いでいることを受け、警察庁は3日、巡回強化や防犯カメラ増設など、店側の対策をまとめた指針を策定したと発表した。一般社団法人「日本チェーンドラッグストア協会」（東京）を通じて、全国の店舗への周知を図る。



警察庁 【読売新聞社】

（読売新聞）

警察庁が、業界団体向けに万引き対策の指針を策定したのは初めて。指針では、巡回強化や外国語での店内放送による注意喚起などの対策を列举。防犯カメラ・防犯ミラーの設置や高額商品の陳列は空箱にすることなどを促す内容で、1月28日付で協会に交付された。

警察庁によると、ドラッグストアでの万引き事件は増えており、昨年1～11月には計1万3754件に上った。2023年までの3年間の摘発状況を分析した結果、1件当たりの被害額の平均は、容疑者が日本人の場合が1万774円だったのに対し、訪日外国人の場合は8万8531円と高額になっていた。

観光に見せかけて来日し、見張りや実行役など役割分担して化粧品や医薬品を盗むケースが目立つという。

ドラッグストアで大量万引き続発、訪日客が容疑者の被害額は1件8万8531円…警察庁が指針策定



2025年2月3日（月）19時13分 読売新聞



警察庁

写真を拡大

ドラッグストアでの大量万引き事件が相次いでいることを受け、警察庁は3日、巡回強化や防犯カメラ増設など、店側の対策をまとめた指針を策定したと発表した。一般社団法人「日本チェーンドラッグストア協会」（東京）を通じて、全国の店舗への周知を図る。

警察庁が、業界団体向けに万引き対策の指針を策定したのは初めて。指針では、巡回強化や外国語での店内放送による注意喚起などの対策を列挙。防犯カメラ・防犯ミラーの設置や高額商品の陳列は空箱にすることなどを促す内容で、1月2

8日付で協会に交付された。

警察庁によると、ドラッグストアでの万引き事件は増えており、昨年1～11月には計1万3754件に上った。2023年までの3年間の摘発状況を分析した結果、1件当たりの被害額の平均は、容疑者が日本人の場合が1万774円だったのに対し、訪日外国人の場合は8万8531円と高額になっていた。

観光に見せかけて来日し、見張りや実行役など役割分担して化粧品や医薬品を盗むケースが目立つという。

首都圏で相次ぐドラッグストアの“大量万引き”を受けて… 警察庁が防犯対策の指針策定



TBS TBSテレビ

国内

2025年2月4日(火) 10:02

首都圏で相次ぐ、外国人によるドラッグストアでの大量万引きを受けて、警察庁は3日、ドラッグストアにおける防犯対策の指針を策定したと発表しました。

警察庁は先月28日、大手ドラッグストアなどが加盟している一般社団法人「日本チェーンドラッグストア協会」に指針を示し、全国の事業者に対策の強化を呼びかけるよう申し入れました。

警察庁が万引きに関する防犯対策の指針を策定したのは初めてだということです。

この指針では、従業員の巡回強化や防犯カメラの増設のほか、外国語で「万引きは犯罪です」「従業員が巡回しています」と店内でアナウンスしたり、ポスターを張ったりして防犯対策を強化するよう示しました。また、ドラッグストアで盗まれた商品は、医薬品や化粧品がおよそ6割を占めるということで、高額な商品や医薬品は空箱で陳列するなどの対策方法も盛り込まれました。

警察庁によりますと、去年1月から11月末までの全国のドラッグストアでの万引き件数は1万3754件。2021年から3年間のドラッグストアでの万引き事件を分析したところ、1件あたりの被害額の平均は、検挙された容疑者が日本人の場合、1万774円だったのに対して、旅行客など訪日外国人の場合は8万8531円だったということです。



この記事を読んでいかがでしたか？

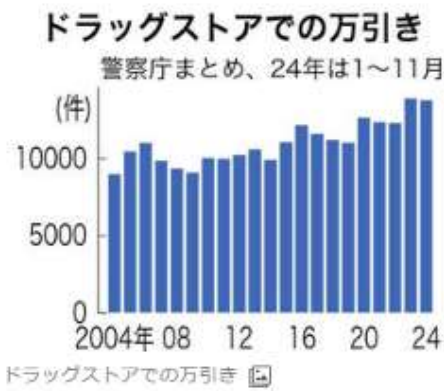
朝日新聞 > 記事

組織的な万引き、警察庁が業界に対策呼びかけ 外国語で店内放送も

板倉大地 2025年2月4日 11時00分

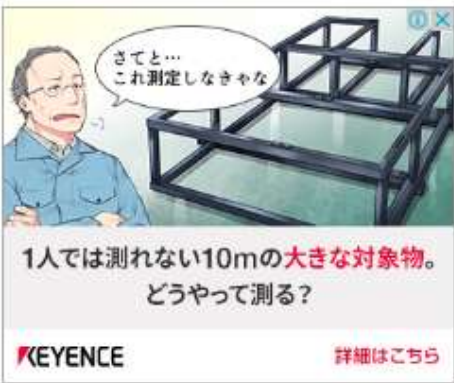


✉ f X B! ...
list 1



ドラッグストアでの万引き事件が目立つことから、警察庁が防犯対策の指針を初めて作った。外国人グループによる被害は高額になる傾向があるといい、指針には外国語による店内放送で注意を呼びかける対策などを盛り込んだ。

指針では、店内の監視強化や警察への早期の通報などのほか、被害が多い医薬品・化粧品を空箱で陳列するなどの対策も示した。1月28日には警察庁が、400近くの企業などが加盟する日本チェーンドラッグストア協会に指針に基づく対策をするよう呼びかけた。



[PR]

警察庁によると、昨年1～11月のドラッグストアでの万引きの認知件数は1万3754件（暫定値）。統計を取り始めた2004年は8971件で増加傾向という。

外国人グループによる万引き被害は高額になる傾向がある。21～23年の摘発件数を容疑者の国籍別に見ると、日本人が計1万9423件、外国人が計3938件。1件あたりの被害額は、日本人が1万774円だったのに対し、外国人は7万8936円だった。旅行などで来日した

外国人は8万8531円とさらに多かった。

これまでに外国人グループを摘発した事件では、盗み役や店員の気を引く役などに役割分担していたり、母国に大量に盗品を送ったりしているケースがあるといい、警察庁は組織的に万引きをしている可能性があるとしている。

有料会員になると会員限定の有料記事もお読みいただけます。

今すぐ登録（1カ月間無料） ログインする

※ 無料期間中に解約した場合、料金はかかりません

この記事を書いた人

板倉大地
東京社会部 | 警察庁担当

+ フォロー

専門・関心分野

事件、事故、警察行政



【速報】2024年ドラッグストアでの万引き認知件数が過去最多1万5161件に 外国人による大量万引きも問題に警察庁

フジテレビ 社会部

2025年2月6日 木曜 午前10:02

外国人によるドラッグストアでの大量万引きが問題となるなか、2024年のドラッグストアでの万引きの認知件数が過去最多となったことがわかりました。

警察庁によりますと、去年1年間のドラッグストアでの万引きの認知件数は1万5161件に上り、統計を取り始めた2004年以降で最多となったことがわかりました。

警察庁が2021年から3年間の被害を分析した結果、ドラッグストアでの万引き1件あたりの被害額は、日本人の容疑者では平均1万774円であった一方、旅行者など来日外国人による万引き1件あたりの被害額は平均8万8531円に上り、外国人旅行者による被害の深刻な実態が明らかになっています。

被害品の半数以上は、医薬品や化粧品で海外でも人気があることから、密輸されているケースもあるということです。また、見張り役や実行役など役割分担された複数人で来店し、1人が店員に話しかけ注意を引いている隙に、実行役が万引きする手口もみられるということです。

警察庁は、業界団体に対して、防犯対策を徹底するよう呼びかけています。

【よく一緒に読まれている記事】



複数人で来店の手口も…来日外国人による万引き1件あたりの被害額が平均8万8531円 医薬品・化粧品の被害が半数以上 警察庁